

# たから

TAKUSUI  
No. 630

4

April, 2009

発行 (財)兵庫県水産振興基金

兵庫の漁業人のための情報誌



「地産地消」をテーマに料理教室を行うJF但馬(香住)女性部とイカナゴ謝恩実行委員会(右上)

## Report

# 河川水放流による豊かな海づくり

魚食普及活動 水産物を使った料理教室で交流会

賀川豊彦の功績と記念事業の紹介

# 魚食普及活動のページ



## 【水産物を使った料理教室で交流会】 JF但馬女性部（香住）



3月10日（火）にJF但馬の香住女性部は、香美町村岡老人福祉センターで、香住ガニ、赤イカ、キスなどを使い、村岡ふれあい給食ボランティアのメンバー24名に～香住の魚を食べよう～のテーマで料理教室を行いました。メニューは「イカのずはんぺん」「赤イカのカニあんかけ」「キスのだんご汁」「香住ガニと長イモの酢の物」「エビ入り炊き込みご飯」「イカのカレー風マリネ」と多彩で、年配の方や子供たちにはすり身



など喉ごしの良い調理法になっています。

平日であったこともあり、ボランティアは中高年の方が中心で活発に活動され、さすがはベテラン、手際よく調理出来ました。また、魚の料理についても料理法に新発見の部分があり、大変喜んでいただきました。

賢い魚の食べ方は、旬によって浜に揚がる魚が異なるため、「地産地消」をモットーに冷凍食品を買うより、新鮮で取れたての魚を直販を通じてトロ箱で買い、みんなで分け合って食卓へ供給することです。

今回、参加出来なかった若手のボランティアの方から、来年も実施してほしいとの声をいただき、これが浜の笑顔につながっていけば・・・と活動しています。

写真：料理教室当日の真剣な取り組みの様子と見事な出来映え



フリースペース

ア7・ア7

## our hour

# イカナゴイベント

兵庫県イカナゴ謝恩実行委員会は皆様に地元の新鮮なイカナゴをたくさん食べていただくように、本年度も多彩な活動を展開しました。

### 解禁日通知

消費者の皆様へ兵庫のイカナゴをPRするため、ポスター掲示や新聞掲載などによりイカナゴ新仔の解禁日をお知らせしました。

### 販売促進

イメージキャラクターであるイカナゴの新平くんと新子ちゃんが量販店の店頭で春を届けました。イカナゴの様々な料理方法を普及するため、量販店にDVDを、一般消費者にリーフレットを配布しました。また、身近に感じていただけるよう、ラジオ関西「新鮮いかなご速報」の放送やJF兵庫漁連のホームページを通してリアルタイムなイカナゴ漁等の情報発信を行い、販売の促進に努めました。

### くぎ煮料理教室開催

地域の郷土料理である「くぎ煮」を伝承するため、県内の中学校計3校15クラス550人の生徒を対象に、また一般の方56人を対象にイカナゴを使った料理教室を3教室開催しました。



### 出席者の感想

#### 「中学生から後日いただいた 約150通のメッセージ集より」

- 家にくぎ煮を持って帰ると、とても人気でその日のうちに全部食べ終わってしまいました。次は私がいかなごをたっぷり作ってあげたいです。
- 獲れなくて高い、旬のイカナゴを食べることができてとても幸せです。
- イカナゴを混ぜるのが面白かった。初めてイカナゴに触り貴重な体験をありがとうございました。
- 翌日、さっそく家で作ってみたら、めっちゃおいしかったです。



## 河川水放流による豊かな海づくり 兵庫県・JF兵庫漁連

全国有数の生産を誇る本県ノリ養殖は、近年、栄養塩不足による色落ちの影響で生産量が大きく減少しています。ノリの成長に必要な、リン、窒素など栄養分を確保するため、農業用ため池やダムなどからの放水に期待が集まっています。12月号でお伝えした淡路東浦地区の農業用水の放流もその取組の1つです。

今回、兵庫県では、播磨地区でダムからの河川水放流が海の栄養分減少を補う効果について検証するため、国土交通省や農林水産省、水利権者等の協力を得て、加古川右岸の平荘ダム、及び多可町の靴屋ダムから3月11日から15日に

かけて合計140万<sup>3</sup>の河川水を放流しました。

放流後は、兵庫県立水産技術センターとJF兵庫漁連のり研究所が連携して、調査船により加古川河口域から播磨灘北東部一帯で栄養塩の拡散状況について採水分析を行い、また周辺漁場ではノリの色落ち改善状況についての調査を実施しています。

兵庫県では得られた調査結果を踏まえて効果の的確な検証を行うとともに、豊かな海づくりに向けた様々な取り組みを今後さらに推進していくこととしています。



平荘ダムの放水口の様子



靴屋ダムの放水口の様子

## 「里海シンポジウムin赤穂」開催！

3月14日(土)、赤穂市文化会館において環境省・兵庫県・兵庫県瀬戸内海環境保全連絡会主催の「里海シンポジウムin赤穂」が開催されました。一般市民、ボランティア関係者、行政関係者のほか、地元漁業関係者など約230名の参加者で、会場は満席になる盛況ぶり。里海づくりに対する関心の高さが窺われました。

シンポジウムでは、広島大学・松田治先生による「里海の実践」、国立環境研究所・木幡邦男先生による「干潟の大切さ」について基調講演があり、続いて事例発表では、兵庫県自然環境課長の土岡正洋氏から「西播磨における里海づくりの取組み」の様子が詳しく紹介され、また、赤穂市立御崎小学校の児童40名による体験発表も行われました。とくに、子どもたちによる「アマモ場づくりを進めて、海の大切さを学びました。これからも、スナメリがすめるような海をめざそう」との発表は、会場の大人たちに大きな感動を与え、好評を博しました。

このほか、地域の自然保護団体代表者などによるパネルディスカッションが行われ、会場の漁業関係者も「たくさんの方々が豊かな海づくりに応援していただいて、誠に有り難く、力強いことだ」と感想を述べていました。

私たち漁業関係者にとって、海はいつまでも「豊かな海」であり続け、しかも「きれいな海」として孫・子の代まで受け継がれる、漁業生産と自然環境の調和がとれた「里海」でなければなりません。常日頃から関心を持ち、漁業者側からも積極的に意見を述べていく姿勢で、里海づくりに取り組む必要があります。



小学生もアマモ場づくりの体験発表

## G号流出油事故 対策本部第6回全体会議を開催！

あの“G号事故”から早くも1年。G号流出油事故対策本部（本部長：小松司JF兵庫漁連会長）では、平成21年3月30日（月）、神戸市立水産会館において関係地区漁業者84名の出席のもと、第6回全体会議を開催しました。

冒頭、小松本部長は挨拶の中で「G号からの油抜きは、当初11月頃を想定していたが、これの早期実現に努力したい」と述べ、議事が進行されました。

昨年10月以降、各船との制限債権者会議が順次進められており、漁業者側からは①抜き取り費用は制限債権ではないこと②漁業被害額の早期支払いをすることの2点の確認を強く申し入れていることなどが報告され、今後、このような事故で、漁業者が泣き寝入りをするのがないよう、全国的な責任制限法を補完する救済基金の創設についても、引き続き国など関係方面へ要請活動を展開することが話し合われました。

なお、漁業者が強く望んでいる「油抜き」については、国や県、市に“前倒し実施”を強力に要請することとしたが、行政関係者からは「実際の作業の際には漁業者もできるだけ協力してほしい」など、意見が出されました。



第6回全体会議の様相

## 事務局移管のお知らせ

4月1日より以下の団体の事務局がJF兵庫漁連からJF但馬に移管されました。

1. 兵庫県機船船曳網漁業協会
2. 但馬地区漁業協同組合協議会

◎新所在地 〒669-6543 兵庫県美方郡香美町香住区若松747 但馬漁業協同組合内

TEL:0796-36-1331 FAX:0796-36-1305

### 貝原節子さん・お別れ会

## 県内外から1300人が在りし日を偲び別れを惜しむ

「2月生まれ故人は、梅の花の散る風情に誘われたのでありましょか。去る2月23日夕、子や孫に囲まれた自分のベッドで、元気なときの表情のまま、安らかな眠りにつきました・・・。」

去る3月27日午後、神戸市内のホテルで“貝原節子さん・お別れ会”がしめやかに営まれ、貝原俊民前兵庫県知事（当基金前理事長・現名誉会長）がおしどり夫婦惜別の胸中を謝辞に託されました。

お別れ会は、お孫さんらがショパンの別れの曲などを献奏、そして黙禱のあと、各界を代表して井戸知事が「桜の頃になるとあの優しい笑顔を思い出すでしょう」と別れを惜しまれた。友人代表のお別れの言葉、故人が愛された兵庫旅情歌献奏に続き、貝原前知事が「晩年、皆様のお見舞いをお受けしなかった我が儘をお詫びします」そして「多くの皆さんに参列いただき、本人も感激しているでしょう」と切々と礼を述べられた。須磨琴が奏でられるなか、故人ゆかりの1,300人余が次々と白い花びらを水盤に浮かべ、微笑みの遺影に在りし日を思い出しつつ、久遠の別れをされました。

本県漁協関係者には、故人と親密なお付き合いをされてきた方も多く、特に昭和53年から平成17年までの

27年間、漁業系統組織で唯一の個人会員親睦会として一時代を牽引した「昭友会」では、設立3年目から特別会員として、毎々、貝原前知事とともにご出席頂き、会員らの奥方とともに楽しく語り、笑い、いつも会を盛り上げていただきました。昭友会が解散する前の一時期、体調を崩されていた時も「この会だけは・・・」と貝原前知事が車イスを押され、ともにご参加いただき、会員一同感動したことを今も鮮明に思い出されます。

心からご冥福をお祈り申し上げます。



謝辞を述べられる 貝原俊民 前兵庫県知事

# 賀川豊彦の功績と記念事業の紹介

— 社会事業・協同組合運動における先駆的功績を称える —



賀川豊彦は戦前の労働運動、協同組合運動に重要な役割を担い、キリスト教の博愛精神に基づく救貧事業などにも取り組み、海外にも知名度の高い人物です。

## 略 歴

- 1888年 7月、神戸市兵庫区島上町に生まれ、徳島市で少年時代を過ごし、中学時代に熱心なクリスチャンになり、明治学院、神戸神学校に学ぶ。
- 1909年 神学校在学中、結核に苦しみながらも神戸の貧民街に住み込み、貧民救済伝道を始める。
- 1920年 神戸消費組合、灘購買組合を創設。(両者は後に合併し、灘神戸生協となる。)  
同年、自伝的小説「**死線を越えて**」を出版、ベストセラーとなる。
- 1922年 日本農民組合結成に参画。
- 1925年 東京に家具生産協同組合、大阪に農村消費組合協会を設立。
- 1926年 東京学生消費組合の設立の参画。

後半生は伝道など宗教活動に重点が移りますが、キリスト教者としての友愛、協同、互助の精神での農民組合、漁民組合、協同組合の活動に生涯を捧げたとと言っても過言ではありません。

- 1955年 ノーベル平和賞候補に挙げられる。
- 1960年 死去。71歳。

## 主な著作

「新協同組合要論」「漁業組合の理論と実際」「経済哲学より見たる産業組合」他、訳書を含め200冊以上に及ぶ。

## 記念事業の紹介

今年賀川豊彦が神戸で貧民救済活動を始めて100年目にあたり、東京、神戸などで記念事業が計画されています。詳しくは下記ホームページを参照してください。

賀川豊彦 献身100年記念事業・・・<http://www.core100.net/>

## お知らせ

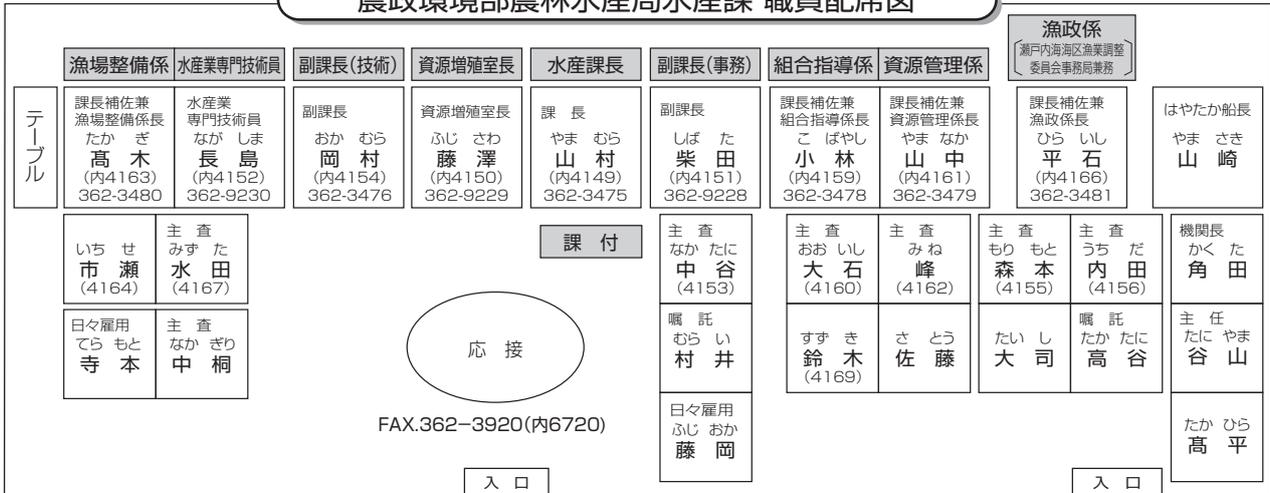
4月6日、小説「死線を越えて」が復刻出版されました。

PHP研究所・・・<http://www.php.co.jp/bookstore/>

※当基金も記念事業の開催に協力しています。

# 兵庫県農政環境部農林水産局水産課&漁港課配席図

## 農政環境部農林水産局水産課 職員配席図



### 漁場整備係

- ①漁場整備開発事業に関する事。
- ②保護水面の管理に関する事。
- ③漁場の保全事業に関する事。
- ④漁場環境の保全に関する事。
- ⑤海洋開発事業と漁業の調整に関する事。
- ⑥水産業の国際交流に関する事。
- ⑦水産物の安全確保に関する事。

### 水産業専門技術員

- ①沿岸漁業等に関する調査研究及び普及指導員の資質向上に関する事。
- ②水産業改良普及に関する事。
- ③水産物の加工流通に関する事。
- ④水産関係統計及び災害による被害等情報に関する事。

### 課付

- ①課業務の総合調整及び庶務に関する事。
- ②総務課との連絡に関する事。
- ③文書及び公印の保守に関する事。
- ④但馬水産事務所との連絡調整に関する事。
- ⑤課内各係に属さない事。

### 組合指導係

- ①水産業協同組合の指導、監督に関する事。
- ②漁業協同組合の経営基盤強化に関する事。
- ③漁業協同組合の合併推進に関する事。
- ④水産制度金融、漁業共済、漁業信用保証に関する事。
- ⑤産地卸売市場に関する事。
- ⑥勅兵庫県水産振興基金に関する事。

### 資源管理係

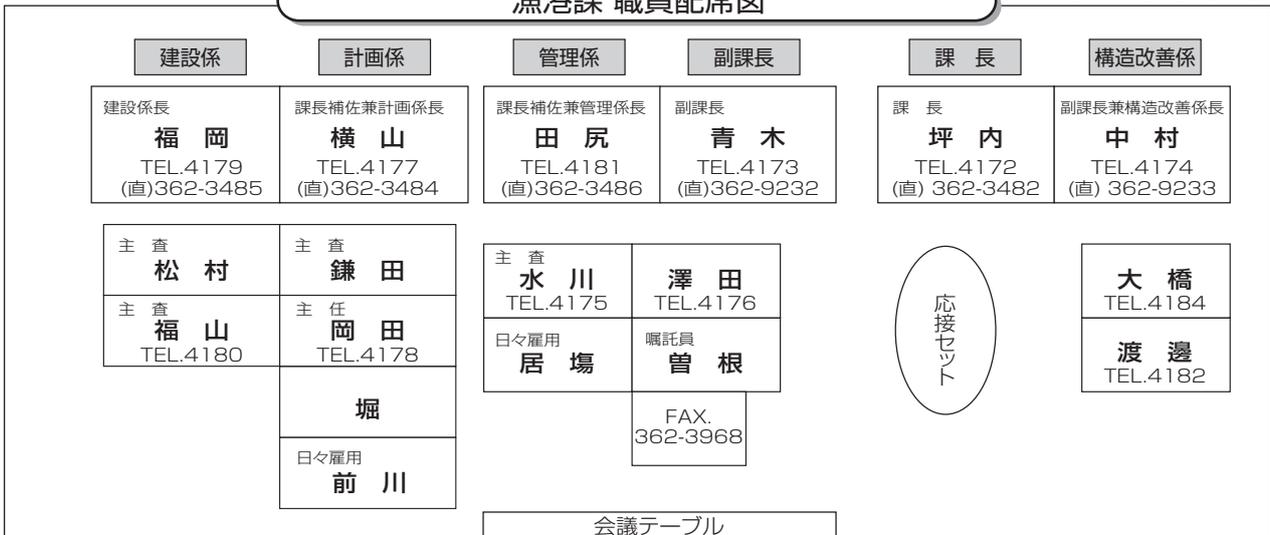
- ①水産資源管理対策に関する事。
- ②栽培漁業の推進に関する事。
- ③養殖業の振興に関する事。
- ④水産新分野の開発に関する事。
- ⑤勅ひょうご豊かな海づくり協会に関する事。

### 漁政係

- ①水産行政の企画立案及び調整に関する事。
- ②漁場計画立案及び漁業の免許登録に関する事。
- ③漁業の許可及び漁業調整に関する事。
- ④内水面漁業の振興に関する事。
- ⑤海区漁業調整委員会及び内水面漁場管理委員会に関する事。
- ⑥漁船の建造等の許可、登録、及び積量の測度に関する事。
- ⑦漁業取締りに関する事。
- ⑧漁船損害等補償法、遊漁船業、観光漁業、漁業無線局に関する事。

## 漁港課 職員配席図

平成21年4月1日現在



### 建設係

- ①県管理の漁港及び漁港海岸事業の実施に関する事
- ②市町管理の漁港及び漁港海岸事業の指導監督に関する事
- ③漁港の災害復旧に関する事

### 計画係

- ①漁港及び漁港海岸の整備計画及び調査に関する事
- ②漁港施設用地の計画及び調査に関する事
- ③漁港港勢調査に関する事
- ④海岸統計に関する事

### 管理係

- ①漁港、漁港海岸利用の占使用事務に関する事
- ②漁港及び海岸保全区域における国有財産に関する事
- ③県営漁港財産の取得、管理及び処分に関する事
- ④漁港及び漁港海岸の指定及び管理に関する事
- ⑤漁港及び漁港海岸の事業事務に関する事
- ⑥課内各係に属さない事

### 構造改善係

- ①漁業経営構造改善事業に関する事。
- ②水産物の流通加工対策に関する事。
- ③共同利用施設の管理運営に関する事。
- ④共同利用施設の災害復旧に関する事。
- ⑤漁港漁村における地域活性化施策推進に関する事
- ⑥漁港漁村活性化対策事業に関する事。
- ⑦漁港漁村環境美化事業に関する事。
- ⑧プレジャーボート対策の総合調整に関する事。

## 「JAバンク兵庫 小学生の環境チャレンジ発表大会」開催

JAバンク兵庫は、小学生の環境保全活動を応援する事業の一環として、2月14日（土）、兵庫県民会館において「JAバンク兵庫 小学生の環境チャレンジ発表大会」を開催しました。今回の発表大会には、兵庫県内の小学校で応募があった233校の中でも、特に積極的でユニークな活動を実践している小学校7校から、小学生・先生・父兄を含め約250名が参加しました。

活動発表では、それぞれの地域特性を生かした環境保全の活動や成果について発表し、自分たちが育ったふるさとの自然を守り伝える大切さを訴えました。JAバンク兵庫から、発表に基づく表彰と活動助成金の贈呈を行い、最優秀賞には、竹炭による池の浄化など里山での活動を通じた環境保護に取り組んだ加古川市立志方東小学校が選ばれました。優秀賞には加西市立富合小学校と新温泉町立浜坂東小学校が、ユニーク賞には加東市立東条西小学校、相生市立那波小学校、淡路市立中田小学校、西宮市立生瀬小学校の4校が選ばれました。

JAバンク兵庫では、今後も引き続き小学生の環境保全活動を応援していきます。



表彰状を手に笑顔の受賞者たち

<http://www.zenchu-ja.org/>

## 地球温暖化防止に向け、車両のCO<sub>2</sub>排出削減の取り組みをすすめています

コープこうべでは、2月3日から「電子地図情報システム」を本格導入しました。これは、個人宅配・協同購入の配送業務で、新加入などで頻繁に変わる配達コースを瞬時に設定してくれるというものです。2008年5～7月の3ヶ月間、実験導入した協同購入センター甲南では、地域担当1人あたりの1週間の配達件数が平均286.2件から302.7件に増加し、トラックの走行距離は10.1%削減することができました。この実験結果から、全ての協同購入・ひまわり（個配）センターに適用することになりました。

また、2月11日からバイオディーゼル燃料（BDF）利用の取り組みを開始しました。店舗の惣菜加工時に出る廃食用油（天ぷら油など）をBDFに精製している業者からBDFを購入し、ディーゼル車両に活用します。

BDFは軽油の代替燃料として注目されており、コープこうべの研修施設である協同学苑の敷地内にBDF専用のタンクを設置し、運転研修用トラックに利用しています。また、コープ土づくりセンターのパッカー車、ショベルカー、（有）みずほ協同農園のトラクター、トラックにも導入していく予定です。

コープこうべは、これからも地球温暖化防止に向けた取り組みをすすめていきます。



運転研修用トラックにBDFを給油（協同学苑内）

<http://www.co-op.or.jp/jccu/>

## お魚調理ワンポイントアドバイス

### 皮ひき

三枚おろしをする時、切り始める時の上身と、二枚になった後の身では、包丁の骨へ当たる角度に気を使しましょう。mana板と包丁との距離が近づくほど手は動きにくくなるものです。

魚が三枚になると、次に腹骨を削ぎます。

腹骨を切った上側（骨の根元）から内臓の皮が見える部分の全てを削ぎ落すのですが、つつい骨がない部分を残してしまがちです。最初に確認の意味を含め、今から削ぐ部分の端に、包丁の先端を使い5mm程度の切れ込み線を入れます。取り除きたい部分の端に押しを付けるのです。押しが出来れば、そこに包丁を当て、削ぎたい骨が上側にあるので、包丁をすくい上げるように引き切ります。出来るだけ脂乗りした端まで切り進められるようにしたいですね。

刺身にする場合、次に皮を引きますが、魚体が大きい場合、真中

の骨に沿って1本切れ込みを入れておくと身がmana板に密着し綺麗に引くことが出来ます。

皮引きは、包丁を尾から頭側へ、真っ直ぐ進めるのですが、慣れないうちは、包丁と尾を持つ手を、大げさに表現すると、クロスさせる、左右に交差させる小さな速い動きで、前へ前へと進めます。

皮引きに慣れるにはツバスやカレイなど、皮のしっかりした魚で練習すれば上達が早くなります。



兵庫県漁業協同組合連合会 魚食推進室

# 旬に想う

写真と文  
遊方子

## 花の名付け親

◆最近生まれた赤ちゃんの名前に、萌杏・望愛・佳音・駿快・央和・海翔。前の3つは女兒でモア・ノア・カノン、後の3つが男児でスカイ・ヒロト・カイトと読むらしい。筆者は振り仮名が無いと全く読めない。漢字の検定試験よりも難読だ。子供の名を考える場合、此れまでは読み易く覚えて貰い易い名前を考えたものだが、近年は字面が重視されるようだ。名前は簡単に変更が出来ず、一生背負う看板だから、掲げる時は細心の注意が要る。名付けは簡単ようで大変に難しい。植物の場合、学会を通じてラテン語の属名・種小名の2記名法で学名が決まり、それぞれの国で名前を考える。日本では和名がつけられる。

◆昭和天皇のお言葉に「雑草という草はない」とある。どんな小さな草にも、学名があり和名が付されている。しかし、「雑草」という言葉も日常にしばしば登場する。自然に生えて来る草を総括して雑草と呼ぶが、農耕地では栽培植物以外がすべて雑草である。それら雑草も改まって名を聞かれると、知らない種類が実に多く『雑草図鑑』に助けを求める。植物名は語源や由来の判っているものもあるが、古い名前なのに由来の判然としない種類も多い。名付けの由来など判らなくても良いようなものだが、知っているか知らないかで興味は大いに違ってくる。そんな意からか、語源探求の書は実に多く出版されている。

◆植物の和名は、学名を翻案したり、呼び慣れた昔からの名

を踏襲したものが多く、殆どは名付け親が判然としていない。しかし帰化植物の場合は、新しく名前が考えられる。雑草のワルナスビ(ナス科)は牧野富太郎博士の命名である。地下茎でやたらと蔓延り、茎にトゲがあって根絶の難しい草で、相応しい名前だ。また、春早く辺りが枯れ野の頃、青色の小さな四弁花が目立つイヌノフグリも牧野博士が名付け親だという。2個並んで出来る果実の形から「犬の陰囊」としたらしいが、観察眼の鋭い実に巧みな命名だと感心する。

◆ヘクソカズラは日当たり地や垣根の周りに生えて、他の物に巻きつき旺盛に群生する雑草である。別名ヤイトバナの通り、花の中心部が赤く熱い灸を思わせる。花は可愛いのだが、強い青臭さから屁糞という気の毒な名が付いたが、誰が名付けたのかは不明である。ドクダミも嫌な臭いを発し、全体の臭さではヘクソカズラと双壁だが、煎じて胃腸薬・食あたり・下痢に卓効あり、外用にして腫れ物・吹き出物の毒消しになり民間薬として有名だ。このドクダミの語源も定説が無く名付け親も不明。植物界の名付けも人と同じく複雑難解である。



「菜の花」(たつの市にて)

## 大輪田塾だより

### 「豊かで美しい海づくり」と「兵庫県認証食品の流通・消費拡大」

3月24日(火)、兵庫県立水産会館で大輪田塾が開催され、兵庫県水産課の高木英男課長補佐が「豊かで美しい海づくり」と題し、また兵庫県消費流通課の松元一師副課長が「兵庫県認証食品の流通・消費拡大」と題して講義が行われました。高木課長補佐は



高木課長補佐の講義

の瀬漁場(仮称)構想などの紹介と魚を守り、育てるための干潟、浅場の重要性に関して講義されました。また、松元副課長の講義では、認証食品制度の目

的が消費者の望む安心・安全な県産食品を安定的に提供し、地産地消に寄与する点にあること、その認証対象、基準、方法、PR実績などが説明され、水産加工品の認証は現在119品目であることなどが講義されました。塾生に認証取得業務を担当した者もあり、県外へのPRの必要性や高額感の払拭のための取組についてなど活発な質疑応答が行われました。



松元副課長の講義

### 表紙の言葉



### 「地産地消・魚食普及」

3月も魚食普及のための料理教室は各地で行われ、但馬地区ではJF女性部が特産のイカ・カニを使い、また内海地区ではイカナゴ漁の漁業者グループがくぎ煮教室を開催しました。いずれも「地産地消」を前面に、一般の方や小中学生にPRしていることが大きな特徴です。